

ひかわ生協 看護小規模多機能事業所みなみ

2025年度 第3回 運営推進会議 報告書

日時：2025年9月17日（水） 14：00 ～ 14：17

会場：あっとホームひかわ食堂

参加者：出雲市健康福祉部高齢者福祉課

斐川高齢者あんしん支援センター

住民代表

利用者様 家族

斐川生協病院院長

介護事業部部長

介護事業部副部長

看護小規模みなみ所長

介護事務

司会： 書記：

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ① 稼働報告
- ② 活動内容
- ③ 事例報告
- ④ 質の向上
- ⑤ 他の事業所、医療との連携
- ⑥ 社会参加について
- ⑦ 苦情・要望について
- ⑧ アクシデント・インシデントについて

III. 質疑応答

（問）この事例の方は、要介護5ですが在宅でどのように過ごされていますか？

（答）奥様が看護師の資格をお持ちで在宅での生活を希望されています。現在は、泊まりや通いを利用しながら自宅での生活を中心に過ごされています。

（問）サービス提供状況の生活圏域についてです。看護小規模多機能型ということで、

自宅で過ごされる方も多いと思いますが、乙立町や遠い場所の方も利用されているんですか？

（答）サービス提供状況に現在あります乙立町の方は、現在こちらの高齢者住宅にお住まいです。ご住所をそのままご自宅にされている方です。

（問）以前、斐川町内にある他のデイサービスを利用していましたが、看護小規模多機能事業所とまた違うように思いますが、どんな点が違いますか？

（答）看護小規模多機能事業所では、通いの場合、発熱等体調を崩した時のご自宅へ帰宅していただくのではなく、泊まりや通いを利用していただくことが一番の特徴で、通常のデイサービスと異なる点だと思います。

（問）退院時期の判断は、本人様の思いですか？

（答）事例の方は、入院中に本人様が「帰りたい」と懇願されていましたが、度重なる発熱があったこと、その後の採血、レントゲンの結果をもとに医師と相談し、退院時期を本人様や家族様を相談し、決定されました。

IV. その他

苦情・要望なしということで、問題なく安心して過ごせますね。

ひかわ生協 看護小規模多機能事業所みなみサテライトれもん

2025年度 第3回 運営推進会議

日時：2025年9月17日（水） 14：17 ～ 14：40

会場：あっとホームひかわ食堂

参加者：出雲市健康福祉部高齢者福祉課

斐川高齢者あんしん支援センター

住民代表

利用者様 家族

斐川生協病院院長

ひかわ生協専務

介護事業部部長

介護事業部副部長

看護小規模みなみ所長

介護事務

司会： 書記：

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ① 稼働報告
- ② 活動内容
- ③ 事例報告
- ④ 質の向上
- ⑤ 他の事業所、医療との連携
- ⑥ 社会参加について
- ⑦ 苦情・要望について
- ⑧ アクシデント・インシデントについて

III. 質疑応答

（問）アクシデント・インシデントはどのくらい発生していませんか？転倒もなかったですか？

（答）今月のところでの報告です。大事に至らなかった転倒や高齢者住宅にお住いの方が転倒された事例は、これまでもありました。

（問）今回の事例は、ご本人とご家族の思いが違ったようですが、看護小規模を利用さ

れた経緯はどのようなことがきっかけでしたか？今は家族の負担が少なく、医療機関と連携しながら利用者様に寄り添った環境作りをされていますね。

（答）意識消失が何度もあり、病院にも相談され、ご家族も自宅での意識消失に不安を抱えておられ、安全第一の考えでご本人に説明され、看護小規模をご利用にされることになりました。その後も自宅で過ごしていただくには、どうしたらいいのかをご家族と何度も話し合いました。

（問）事例の方は、Ⅰ型糖尿病でインスリンの問題が発生していますが、どのようにされていますか？

（答）インスリンの単位のセットを看護師がし、ご家族へお渡ししておりました。

（問）帰宅願望が強い方を施設としてはどこまで考慮されていますか？男性の方が帰宅願望の強い方が多いですか？

（答）性別でどちらが多いということはありませんが、やはりご自宅を希望される方は多いと感じます。

（問）れもんの事例の方は、泊りを利用されていますが、どのくらいの人数が泊まることができますか？

（答）れもんの泊まりは5名まで、登録は18名までとなっております。

Ⅳ. その他

・介護経験されてきた方は分かると思いますが、お互いに疲れる日もあると思います。いつでも帰ることができ、いつでも通える、泊まれるという看護小規模の特色を生かすことでご本人やご家族の負担も減っていきますね。

・糖尿病の型は、Ⅰ型とⅡ型があり、この事例の方はⅠ型糖尿病のため、いつ血糖値が上がるか分からない状況です。ご本人が分からない間に上がることもあり、Ⅰ型はコントロールが難しいです。

；

ひかわ生協 看護小規模多機能事業所みなみサテライトとまと

2025年度 第3回 運営推進会議

日時：2025年9月17日（水） 14：40 ～ 14：50

会場：あっとホームひかわ食堂

参加者：出雲市健康福祉部高齢者福祉課

斐川高齢者あんしん支援センター

住民代表

利用者様

斐川生協病院院長

介護事業部部長

介護事業部副部長

看護小規模みなみ所長

介護事務

司会： 書記：

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ① 稼働報告
- ② 活動内容
- ③ 事例報告
- ④ 質の向上
- ⑤ 他の事業所、医療との連携
- ⑥ 社会参加について
- ⑦ 苦情・要望について
- ⑧ アクシデント・インシデントについて

III. 質疑応答

（問）本人様は慣れてこられましたか？

（答）少しずつ慣れてこられました。

IV. その他

・今まで、斐川町内のデイサービスに通っており、その職員の中には近所の方も多く、親しく声を掛けていただけることが本人は嬉しく思っていました。とまとを利用し始めたころは、慣れないこともあり、寂しさも感じていたようです。送迎時の挨拶が機械的に感じています。コミ

コミュニケーションは大切だと思います。

→明るく親しみを込めた挨拶に努めてまいります。

・以前、家族が利用して良かったということで、困った時に看多機を思い出されたという事が良かったことですね。

→とても嬉しく、役割として発揮したいと思っています。

・看護小規模多機能事業所は限られておりますが、自事業所はサテライト事業所含め、3つありますので医療機関からのご相談を受けることも多いです。

みなみ

サービス提供が週1回程度の利用者

月	利用者数
4月	0
5月	0
6月	0
7月	0
8月	0
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	

重度の者ではほぼ毎日宿泊する形態をとる利用者

月	利用者数
4月	2
5月	2
6月	2
7月	2
8月	3
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	

れもん

サービス提供が週1回程度の利用者

月	利用者数
4月	0
5月	0
6月	0
7月	0
8月	0
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	

重度の者ではほぼ毎日宿泊する形態をとる利用者

月	利用者数
4月	1
5月	1
6月	0
7月	0
8月	0
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	

とまと

サービス提供が週1回程度の利用者

月	利用者数
4月	0
5月	0
6月	0
7月	0
8月	0
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	

重度の者ではほぼ毎日宿泊する形態をとる利用者

月	利用者数
4月	2
5月	1
6月	2
7月	2
8月	3
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	